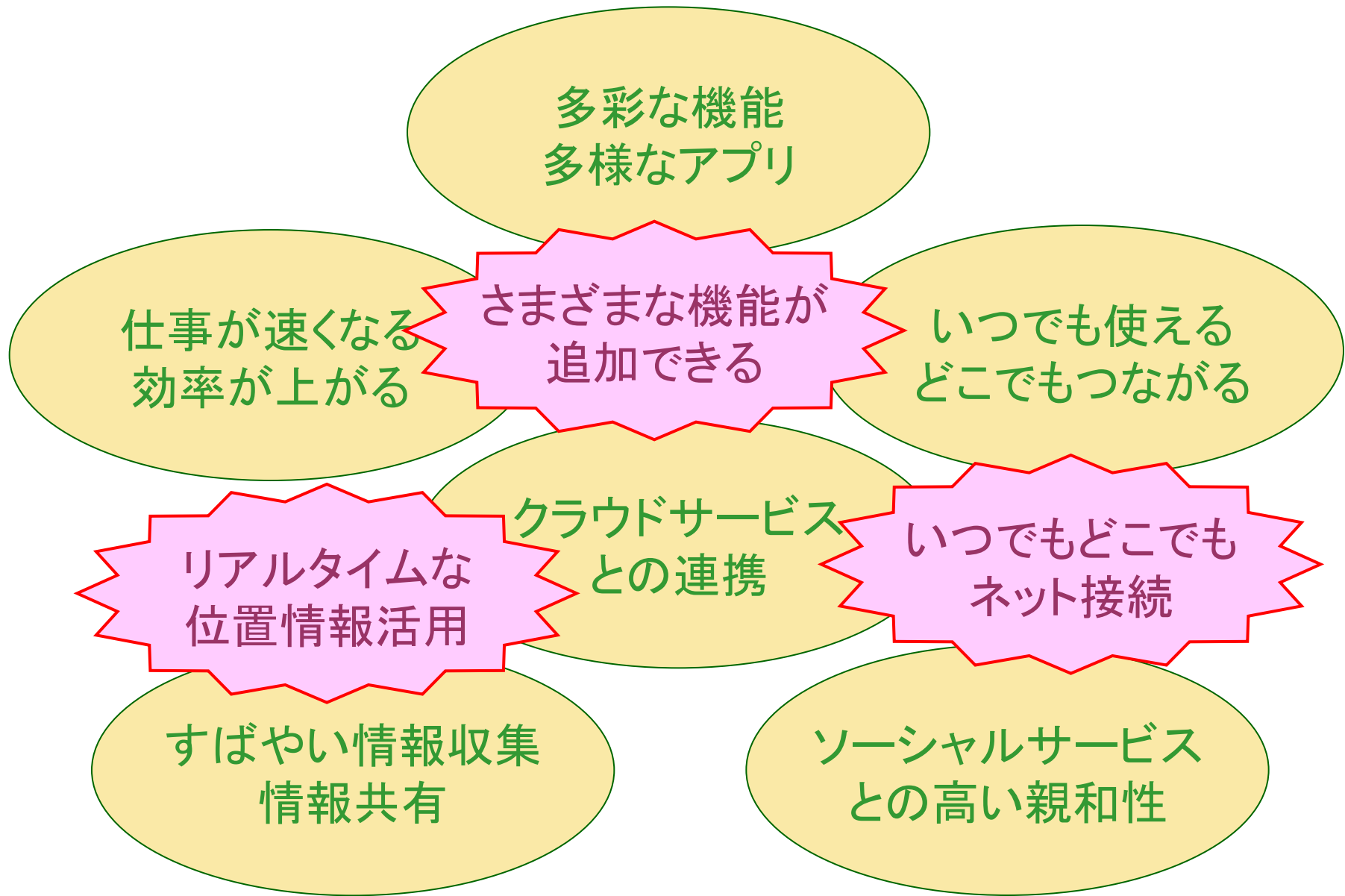
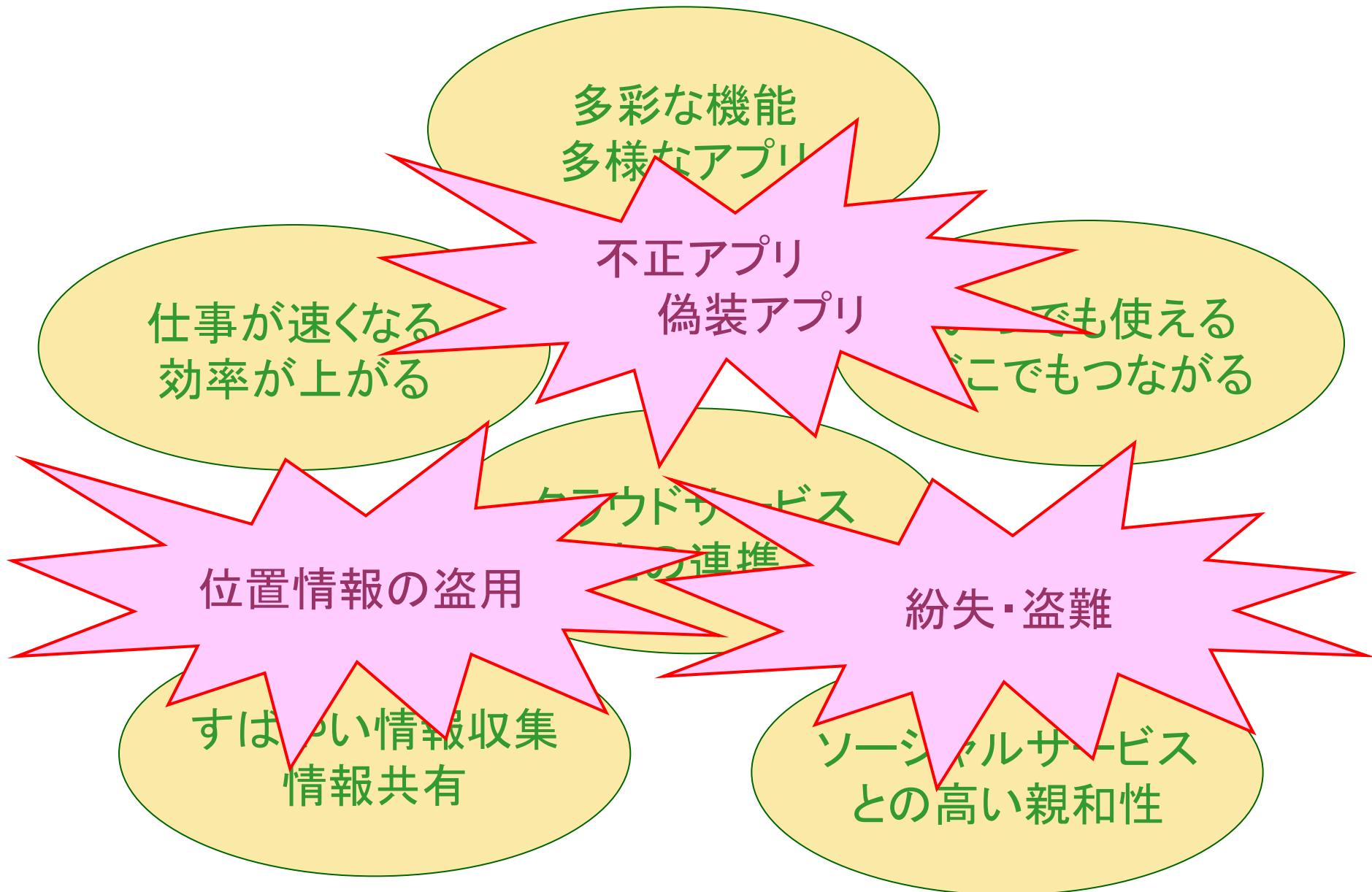


スマートフォンをビジネスで セキュアに使うために

MCPC技術委員会・アプリケーションWG

後藤 義徳





ニュース



個人情報を盗む「the Movie」アプリは29種類、数百万人が被害の恐れ

インストール数は潜在的に30万件、シマンテックが詳細を

2012/04/17

勝村 幸博 = 日経パソコン

記事一覧へ >>

ツイート

シマンテックは2012年4月16日、個人情報を盗む悪質なAndroidアプリの詳細を公表した。悪質なアプリは29種類。潜在的なインストール数は30万件で、数百万人分の個人情報が盗まれた恐れがある。現在では「Google Play」から削除済み。個人情報の送信先であるサーバーも停止されている。

問題の悪質アプリは、人気アプリに関連した動画などに見せかけて、ユーザーにインストールさせようとする。アプリ名が「(人気アプリ名) the Movie」であることが多いため、「the Movie」アプリなどと呼ばれる。

アプリをインストールしようとすると、「ネットワーク通信」「個人情報」「電話／通話」へのアクセス許可を要求する(図)。ユーザーが許可して、アプリをインストールすると、アプリが用意するサーバーに接続(現在では、同サーバーは停止)。動画ダウンロードして再生する。



IT会社社長らを不起訴 スマホアプリで個人情報流出事件

2012.12.27 14:41 【スマートフォンアプリ】

スマートフォン(多機能携帯電話)のデータを抜き取るアプリをインターネット上に公開したとして、不正指令電磁的記録供用容疑で逮捕されたIT関連会社の社長(36)＝東京都港区＝ら男女5人について、東京地検は27日までに、嫌疑不十分で不起訴処分とした。処分は26日付。

個人情報を抜き取るアプリ、なぜ不起訴処分? 「同意」の落とし穴 (2/3ページ)

2013.2.24 17:00

ツイート

102

チェック

産経新聞グループ【産経オンライン英会話】無料体験⇒[PR]

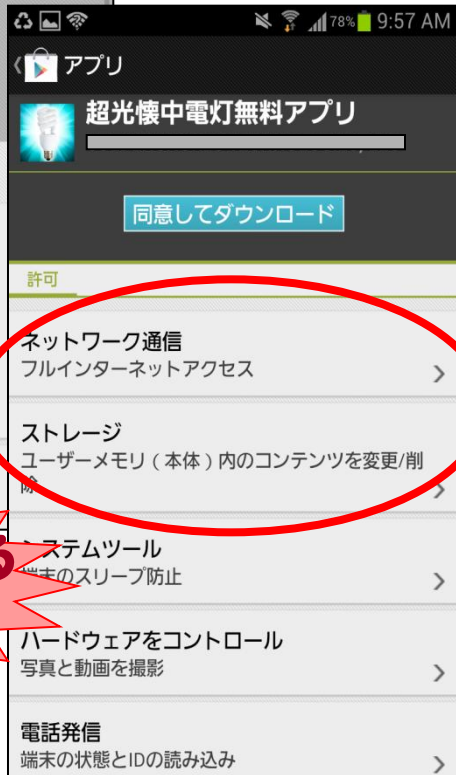
スマホのアプリには、必ずパーミッション画面が現れる。インストール直前に「同意します」「同意しません」という表示が出るアシである。

今回不起訴処分となった背景には、個人情報を収集することにユーザーが同意した点、かつそのアプリがユーザーに説明した通り動画を再生する機能を満たしていた点、この2点の理由があった模様だ。

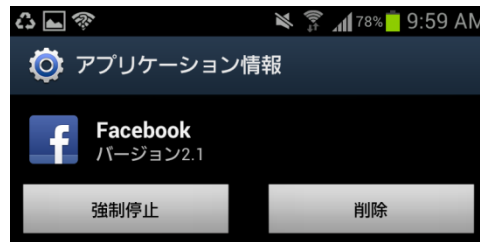
しかし実際のところ、多くのユーザーがパーミッションの同意事項についてよく読むこともなく、甘い誘惑に駆られて同意を与えているのが現状である。

個人情報保護法では、本人の同意なく第三者に個人情報を提供してはならない、と定められているが、それを逆手に取ったやり方といえるだろう。

アプリをインストールするときに、「許可」をよく確認しましょう



不要と思われる
許可を要求



② コシだけはやっておきましょう 位置情報利用の設定

位置情報アプリの例

地図アプリや
スマホナビ



位置情報
ゲーム

でも諸刃の剣で...

「カレログ」騒動
なんてのもありました

スマホで
撮影した写真
(GPS: ON)



位置情報利用の設定はこまめに実施しましょう

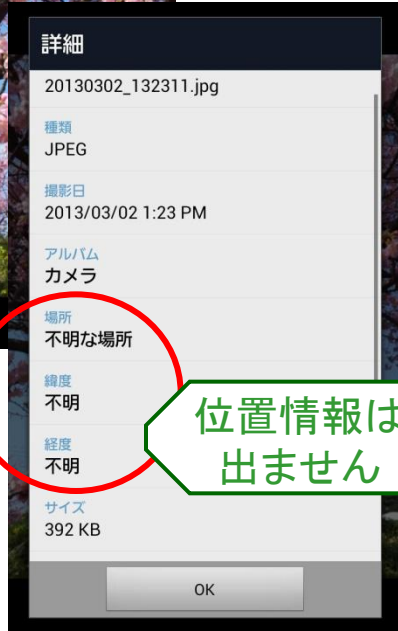


iPhoneではアプリごとに利用可否を設定できる

Androidではその都度GPSの ON/OFF 実施を

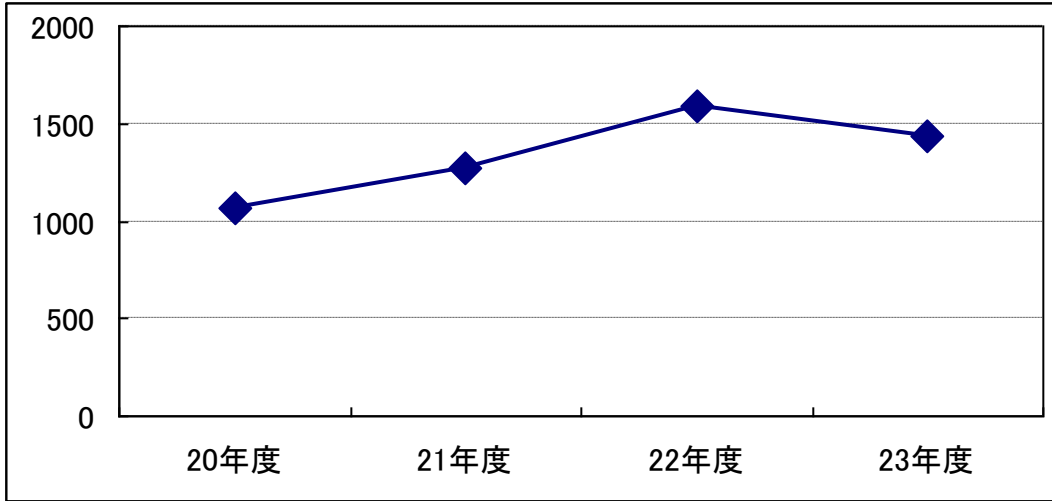


スマホで撮影した写真 (GPS: OFF)



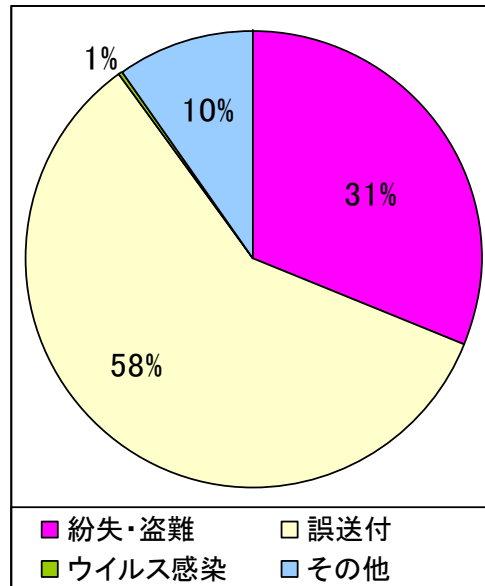
位置情報は出ません

③ コシだけはやっておきましょう 紛失盗難対策



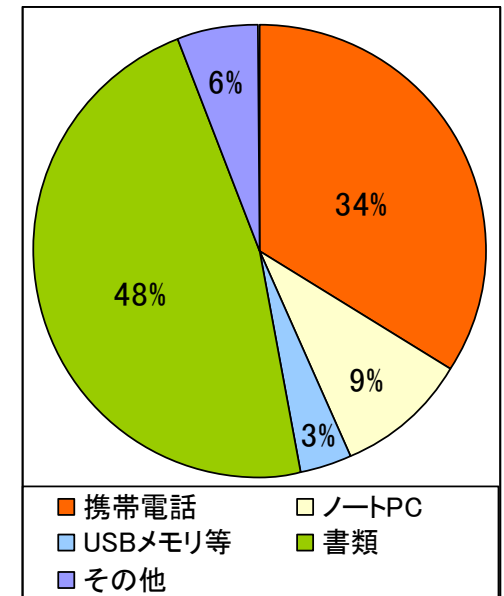
事故報告件数の推移

平成23年度: 1,434件の報告



原因別事故報告件数
(平成23年度)

紛失・盗難の媒体別内訳
(平成23年度)



出典: 平成23年度 個人情報の取扱いにおける事故報告にみる傾向と注意点

一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)

①画面ロックの設定、常時画面ロックを



②遠隔ロック、消去の登録

③バックアップの実施

MDMの利用

携帯電話会社が提供する、もしくは推奨するサービス

紛失したスマートデバイスの
遠隔データ消去
3G回線停止クラウドサービス



1 ID月額
315円(税込)

1 IDから
お申し込み

BYOD
にも対応!



⊕ ストラップの利用や放置しない習慣・意識付けを

PCと同様、スマートフォンのデータも重要な情報資産です

自社のセキュリティポリシーに基づいて管理・運用規則を定め、社員に対し、適切な使い方を徹底させることが重要です。

スマートフォン利用ルール の例

事前対策

PINコードやロックの設定、リモートロック・消去やバックアップサービスの加入、など

運用中の対策

ロックの使用(常時)、外部メモリ利用時の注意、ストラップなどの物理対策実施、
PC・外部機器との接続禁止や制限、利用ネットワークの制限(例:フリースポット接続禁止)、
OSバージョンの最新化、不必要なアプリのインストール禁止、など

紛失・盗難発生時の事後対策

通信会社への連絡(遠隔ロック・通話停止)、警察届出、社内規定に従った対応、等

詳細は…

http://www.mcpc-jp.org/smartphone/pdf/201204_check.pdf

コレだけはやっておきましょう

- ① 不正・偽装アプリ対策
インストールをするときには、「許可」項目の確認を！
- ② 位置情報活用
使うアプリだけ、使う時だけGPSを「ON」に。
- ③ 紛失・盗難対策
まずは画面ロックの常時使用を！

過度な心配は不要です。正しい理解と適切な使い方
便利な機能やサービスを“スマート”に使いこなしましょう。

参考:

PDF版「スマートフォンをビジネスでセキュアに使うために」

http://www.mcpc-jp.org/smartphone/pdf/201204_secure.pdf

MCPC

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
Mobile Computing Promotion Consortium